

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-4

< 第35週 > A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 - 定点当たり報告数は第23週から減少し続けていたが、第35週は増加した。過去5年間の同時と比較してかなり多くなっている / その他最新動向



注目すべき感染症
P.5-6

< 腸管出血性大腸菌感染症 >
2004年第35週の現段階での報告数は216例であり、1週間当たりの報告数は第30週を除き、第29週以降ほぼ同数で推移している



病原体情報
P.7-8

無菌性髄膜炎患者から検出されているウイルス 2004年 / 手足口病患者から検出されているウイルス 2004年 / 咽頭結膜熱患者から検出されているアデノウイルス 2004年



速報
P.9-11

平成16年度(2004/05シーズン)インフルエンザワクチン株の選定経過



海外感染症情報
P.12-14

米国コロラド州でペストの発生 / 米国ニュージャージー州でリベリアからのラッサ熱輸入例 / フランスでのイヌの狂犬病(モロッコからの輸入例) / チャド西部でのコレラ流行 / チャドでのE型肝炎 - 更新



感染症の話
P.15

< 今週はお休みです >



読者のコーナー
< 今週は該当記事はありません >



グラフ総覧(35週)
P.16-22



35週のデータ
P.23-32



発生動向総覧

*「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(平成15年11月5日施行)により、対象疾患、分類が一部変更されました(2003年第43号「速報」参照)。

< 第35週コメント > 9月2日集計分

全数報告の感染症

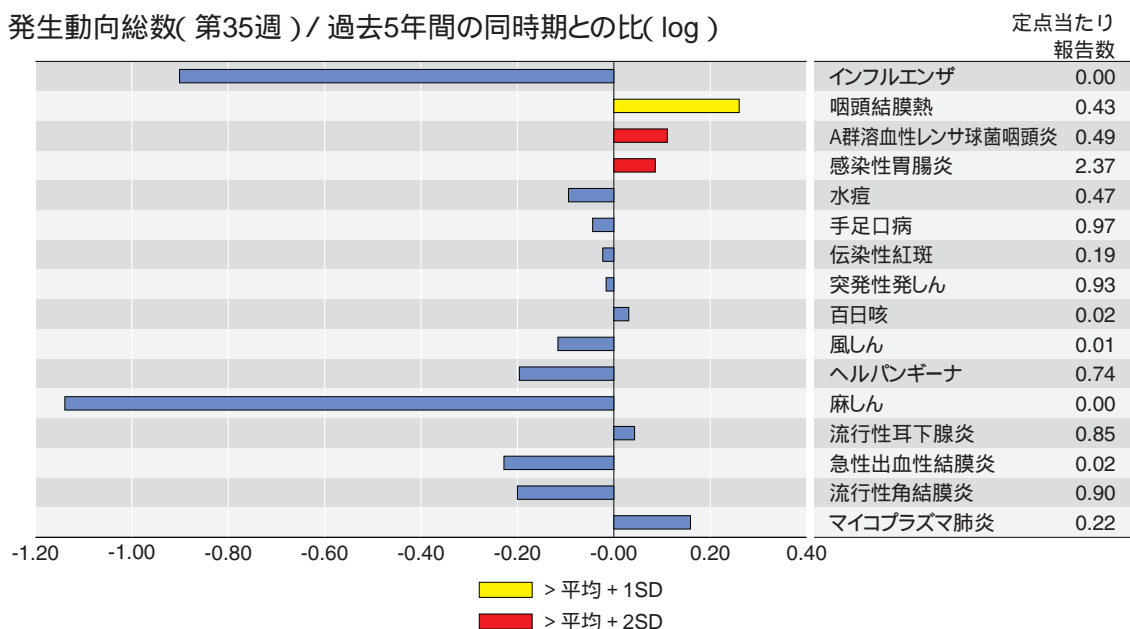
注意:これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が、集計の期日以降に届くこともあります。それらについては、発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることになります。宜しく御理解下さい。

- 1類感染症: 報告なし
 - 2類感染症: コレラ 7例(推定感染地域: 国内2例、中国2例、フィリピン2例、インド1例)
細菌性赤痢 15例(推定感染地域: 国内1例、中国6例、米国(ハワイ)2例、マレーシア2例、モンゴル1例、インド1例、インド/タンザニア1例、その他1例)
腸チフス 3例(推定感染地域: 国内1例、インド1例、フィリピン1例)
パラチフス 1例(推定感染地域: インド)
 - 3類感染症: 腸管出血性大腸菌感染症 216例(うち有症者137例)
報告の多い都道府県: 宮城県(18例) 岡山県(12例) 福岡県(12例)
血清型・毒素型: O157 VT1・VT2(76例)、O157 VT2(51例)、O26 VT1(50例)、O111 VT1・VT2(7例)、O157 VT1(5例)、O26 VT1・VT2(3例)、O111 VT1(2例)、O115 VT1(1例)、O119 VT1(1例)、O128 VT1(1例)、O146 VT1・VT2(1例)、その他(18例)
年齢: 10歳未満(94例)、10代(34例)、20代(29例)、30代(24例)、40代(10例)、50代(8例)、60代(12例)、70歳以上(5例)
 - 4類感染症: デング熱 2例(推定感染地域: 東チモール1例、フィリピン1例)
日本紅斑熱 5例(千葉県(1)、高知県(3)、大分県(1))
マラリア 2例 三日熱 1例(推定感染地域: ソロモン諸島)
熱帯熱 1例(推定感染地域: インドネシア)
レジオネラ症 1例(47歳)
A型肝炎 2例(推定感染地域: とともに国内)
 - 5類感染症: アメーバ赤痢 11例(推定感染地域: 国内8例、不明3例、推定感染経路: 性的接触4例、不明7例)
ウイルス性肝炎 3例(いずれもB型__推定感染経路: 性的接触2例、不明1例)
クリプトスポリジウム症 2例(推定感染地域: とともにインド/ネパール)
クロイツフェルト・ヤコブ病 1例(孤発性)
後天性免疫不全症候群 7例(無症候4例、AIDS 3例)
推定感染経路: 性的接触6例(異性間3例、同性間3例)、不明1例
推定感染地域: 国内6例、不明1例
ジアルジア症 2例(推定感染地域: 国内1例、インド/ネパール1例)
梅毒 6例(早期顕症I期3例、早期顕症II期3例)
バンコマイシン耐性腸球菌感染症 2例(遺伝子型: VanC 1例__菌検出検体: 便、遺伝子型: 不明1例__菌検出検体: 便)
- (補)他にコレラ1例の報告があったが削除予定。また報告遅れとして、劇症型溶血性レンサ球菌感染症2例[55歳、78歳(死亡)]の報告があった。

定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

発生動向総数(第35週)/過去5年間の同時期との比(log)

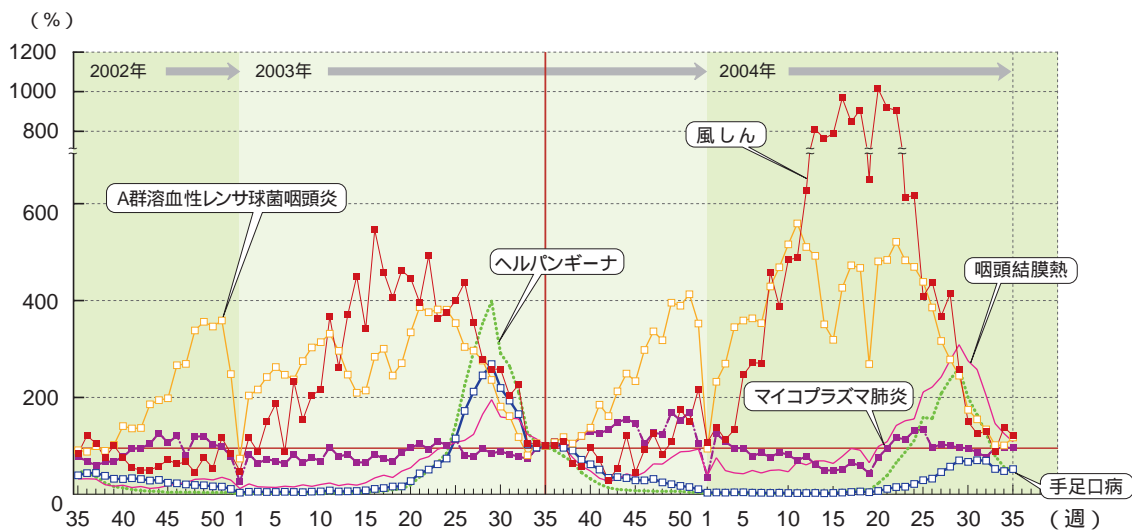


当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を超えた場合黄で、2標準偏差を超えた場合赤で色分けしている。

小児科定点報告疾患: 咽頭結膜熱の定点当たり報告数は第11週から増加傾向が認められ、第25週には過去10年間の全ての週と比較して最高値となった。その後も第29週まで最高値を更新し続けたが、第30週からは減少している。しかし相変わらず、過去10年間の当該週と比較して最高値を示しており、都道府県別では福井県(2.6)、熊本県(1.7)、宮崎県(1.5)が多い。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は第23週から減少し続けていたが、第35週は増加した。過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してかなり多く、都道府県別では大分県(1.6)、富山県(1.2)が多い。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は第12週から減少傾向が続いていたが、第34週から増加している。過去5年間の同時期と比較してかなり多く、都道府県別では福井県(5.1)、大分県(5.1)が多い。手足口病の定点当たり報告数は第20週から第29週まで緩やかに増加し、その後第32週までほぼ横ばいで推移した。第33週から減少したが、第35週は再び増加した。都道府県別では宮崎県(4.5)、大分県(4.0)が多い。風しんの定点当たり報告数は前週と同値で、都道府県別では17都道府県から報告があったが、いずれも0.1以下であった。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は、第26週を除き、第20週から第29週まで増加し続けたが、第30週からは減少している。都道府県別では青森県(3.2)、秋田県(2.5)が多い。麻しんの定点当たり報告数は減少し、第1週から継続して、過去10年間の当該週と比較して最低値を示している。9都道府県から報告があったが、いずれも0.1以下であった。RSウイルス感染症はゼロ報告を含めて31都道府県から報告がなされ、報告数は合計33例であった。

基幹定点報告疾患: マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は第33週からほぼ同値で推移しており、都道府県別では秋田県(1.0)、山口県(0.8)が多い。

図. 主要疾患の過去2年間の週別定点当たり報告数の動き(第35週)



2003年第35週の定点当たり報告数を100%として各週の報告数値を換算し、主要疾患の過去2年間の増減を表している。



注目すべき感染症

腸管出血性大腸菌感染症

腸管出血性大腸菌感染症は感染症法に基づく3類感染症として、患者または無症状病原体保有者について、診断した医師は届け出が義務づけられている。無症状病原体保有者は、食品産業従事者の定期的検便によって偶然発見される場合もあるが、探知された患者と食事を共にした者や接触者の調査などによって発見される場合が多い。

2004年第35週の現段階での報告数は216例であった。1週間当たりの報告数は第30週を除き、第29週以降ほぼ同数で推移している(図1)。また、第35週までの累積報告数は2,545例で、過去3年間の同週までの累積報告数(2001年3,543例、2002年2,452例、2003年1,678例)と比較すると、2002年の状況に近い。第35週までの累積報告数を都道府県別にみると、東京都(190例)、石川県(165例)、大阪府(155例)、岡山県(153例)が多い(図2)。第35週に限ると、宮城県(18例)、岡山県(12例)、福岡県(12例)が多く(図3)、報告の多くは家庭内感染を含む散発事例であるが、保育所での集団発生が複数の都道府県でみられた他、飲食店における集団発生もあった。

第35週までの累積報告数を血清型・毒素型別にみると、O157 VT1・VT2 877例(34%)、O157 VT2 585例(23%)、O26 VT1 510例(20%)の順に多い。また、年齢群別(0～69歳までは10歳毎、および70歳以上)にみると、10歳未満1,050例(41%)が最も多く、10代419例、20代345例、30代229例、40代136例、50代147例、60代107例、70歳以上112例となっている。

溶血性尿毒症症候群(HUS)は第35週に3例報告があり、本年の累積は34例となった。それらの原因菌の血清型・毒素型別では、O157 VT2(16例)、O157 VT1・VT2(9例)、O26 VT1・VT2(2例)、O111 VT1・VT2(2例)、O146 VT1・VT2(1例)、その他4例であった。また、年齢群別では10歳以下が27例(うち、5歳以下は21例)、10代1例、60代1例、70歳以上5例であった。性別では男性11例、女性23例と女性に多かった。本年報告されている死亡例は4例(70代女性、2歳女性、3歳女性、80歳男性)となったが、原因菌の血清型・毒素型はそれぞれO157 VT1・VT2、O26 VT1・VT2、O111 VT1・VT2、O157 VT1・VT2であった。死亡例やHUSの合併については、届け出時点以降での発生が十分反映されていない可能性があり、このような発生があった場合には「入力時のお願い」として、修正報告することをお願いしている。

例年報告は初秋にも多くみられるので、今後も一層の注意が必要である。また、本年においても、保育所などに関連した集団発生の報告が散見されている。保育所などでの人から人への感染を防ぐために、タオルの共用を避けることや、普段からの手洗い(特にオムツ交換時)園児への排便後・食事前の手洗い指導を徹底することが重要である。さらに、夏季には簡易プールなどの衛生管理にも注意を払う必要がある。

図1. 腸管出血性大腸菌感染症(無症状病原体保有者含む)の年別週別発生状況

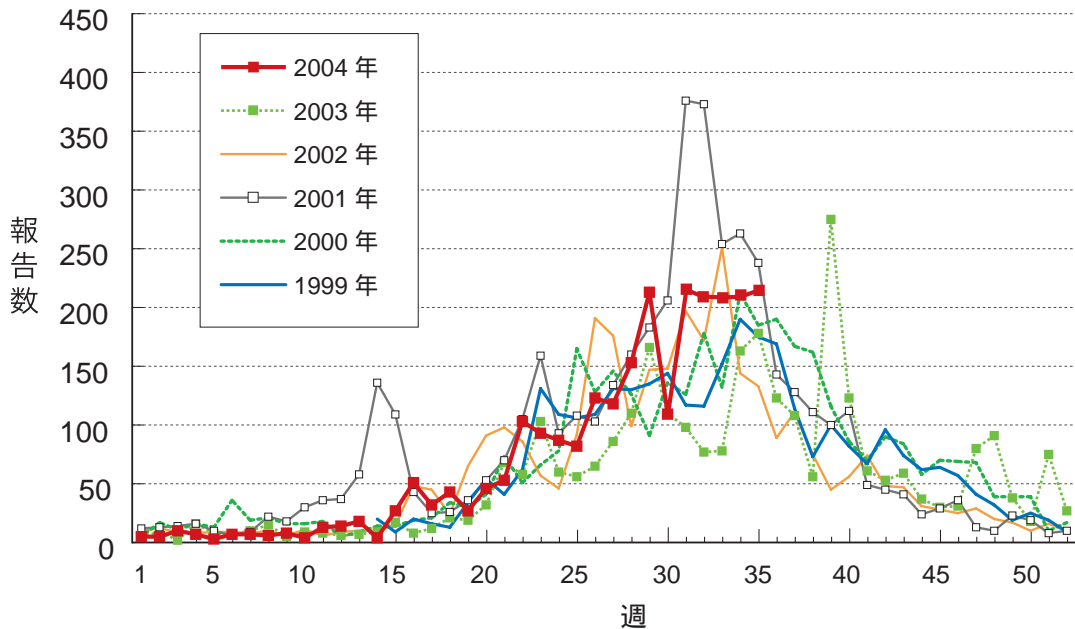


図2. 腸管出血性大腸菌感染症(無症状病原体保有者含む)の都道府県別発生状況 (2004年第1 ~ 35週の累積)

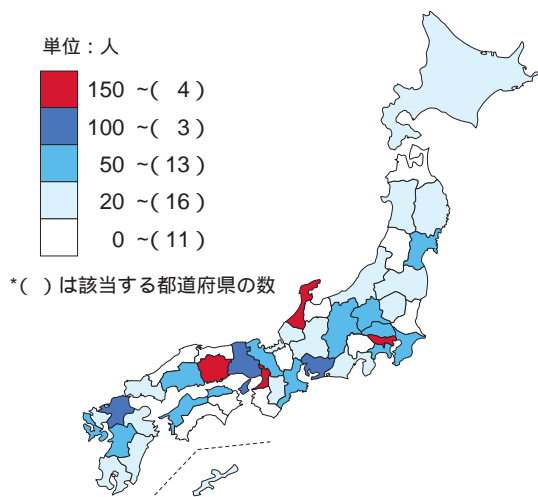
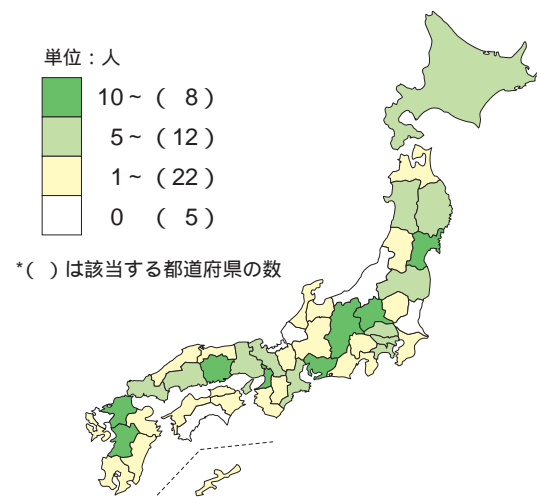


図3. 腸管出血性大腸菌感染症(無症状病原体保有者含む)の都道府県別発生状況 (2004年第35週のみ)





病原体情報

* グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。

各都道府県市の地方衛生研究所(地研)からの検出報告です。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

(2004年9月3日現在報告分)

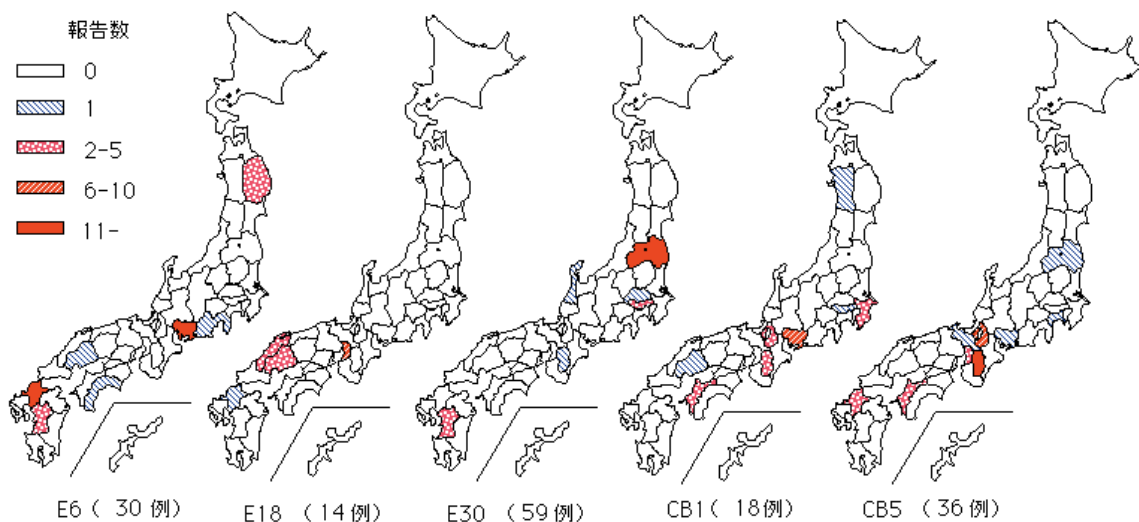
無菌性髄膜炎患者から検出されているウイルス 2004年

エコーウイルス(E)が114件、B群コクサッキーウイルス(CB)が64件、ムンプスウイルスが22件、A群コクサッキーウイルスが11件報告されている。

昨年(2003年)全国的に流行したE30は(IDWR2004年第20号病原体情報12ページ参照)、これまでに59件と最も多いが、このうちの49件は福島県(IDWR2004年第33号15ページ速報記事参照)からの報告であり、その他に5都県から報告されている。E30に次いで36件が報告されているCB5は、近畿地方(奈良県18、滋賀県7、大阪府3、京都府1)を中心に9府県から報告されている。また、E30と同様に昨年多かったE6は30件で、愛知県12、福岡県11などからの報告が多い。この他に、CB1の18件中6件が愛知県から、E18の14件中8件が大阪府から報告されており、検出されるウイルスは地域によりそれぞれ異なっている。

都道府県別無菌性髄膜炎患者からの主なウイルス検出報告状況, 2004年

(病原微生物検出情報: 2004年9月3日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。

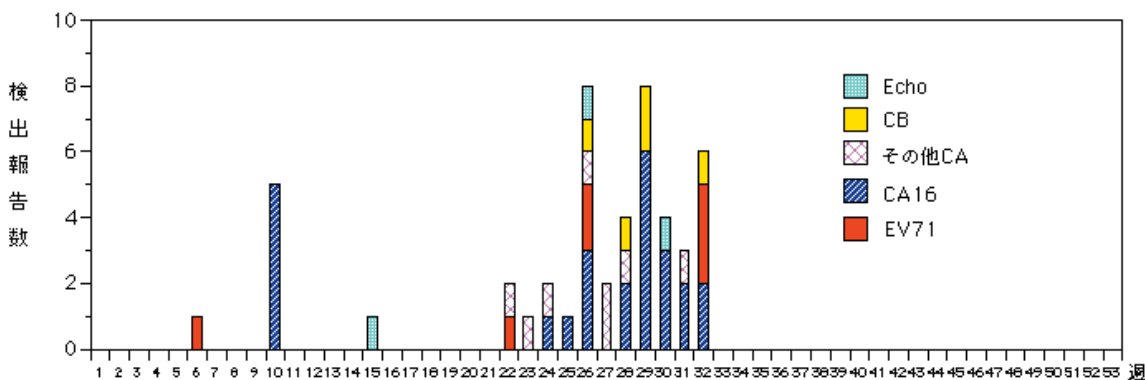


Infectious Agents Surveillance Report

手足口病患者から検出されているウイルス 2004年

これまでにA群コクサッキーウイルス16型(CA16)が25件、エンテロウイルス71型(EV71)が7件報告されている。検出報告が増加し始めた第22週(5/24 ~)以降では、CA16が愛知県9(第26、28 ~ 30週)、福岡県6(第24 ~ 30週)、長野県4(第31 ~ 32週)、愛媛県1(第30週)、EV71は東京都3(第22、26週(IDWR2004年第27号9ページ速報記事参照))、神奈川県3(第32週)が報告されている。その他に、CA4が7件、CA6が1件、B群コクサッキーウイルスが5件(1型2、5型2、2型1)、エコーウイルスが2件(18型1、27型1)報告されている。

週別手足口病患者からのウイルス分離報告数、2004年 (病原微生物検出情報：2004年9月3日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。



咽頭結膜熱患者から検出されているアデノウイルス 2004年

これまでに計233件のアデノウイルスが報告されており、そのほとんどは咽頭ぬぐい液(217)から検出されている(その他に糞便16、結膜ぬぐい液6、喀痰・気管吸引液1)。このうちアデノウイルス3型(Ad3)の報告が、北海道から大分県までの29都道府県から160件(兵庫県38、宮城県19、広島県12、長野県9、愛知県8など)で最も多い。次いでAd2が16県から40件(兵庫県6、宮城県5、新潟県、静岡県、高知県各3など)、Ad5が13件(長野県4など)、Ad1が12件(広島県4など)、Ad4が4件、Ad6が2件、Ad7が1件、Ad19が1件報告されている。

アデノウイルス検出例の年齢分布は、Ad3では4歳32、3歳26、6歳21の順で、4歳をピークとして乳児～学童までの幅広い年齢から検出されているのに対し、Ad2は1歳18をピークに、0～3歳が35(88%)と、ほとんどが乳幼児からの検出である。



平成16年度(2004/05シーズン)インフルエンザワクチン株の選定経過

わが国におけるインフルエンザワクチン製造株の決定過程は、厚生労働省健康局の依頼に応じて国立感染症研究所(感染研)が検討し、これに基づいて厚生労働省が決定・通達している。感染研では、全国74カ所の地方衛生研究所と感染研、厚生労働省結核感染症課を結ぶ感染症発生動向調査事業により得られた流行状況、および約5,000~7,000株に及ぶ分離ウイルスについての抗原性や遺伝子解析の成績、感染症流行予測事業による住民の抗体保有状況調査の成績などに基づいて、前年度の11~12月に次年度シーズンの予備的流行予測を行い、これに対するいくつかのワクチン候補株を選択する。さらにこれらについて、発育鶏卵での増殖効率、抗原的安定性、免疫原性、エーテル処理効果などのワクチン製造株としての適格性を検討する。一方、年が明けた1月下旬から数回にわたり所内外のインフルエンザ専門家を中心とする検討委員会が開催され、上記の前シーズンの成績、およびその年のインフルエンザシーズンにおける最新の成績を検討して、次シーズンの流行予測を行う。さらにWHOにより2月中旬に出される北半球次シーズンに対するワクチン推奨株とその選定過程、その他の外国における諸情報を総合的に検討して、2~3月までに次シーズンのワクチン株を選定する。感染研はこれを厚生労働省健康局長に報告し、これに基づいて厚生労働省医薬食品局長が決定して5~6月に公布している。

平成16年度(2004/05シーズン)に向けたインフルエンザワクチン株は、

A/ニューカレドニア/20/99(H1N1)

A/ワイオミング/3/2003(H3N2)

B/上海/361/2002

であり、以下にその選定経過を述べる。

1 . A/ニューカレドニア/20/99(H1N1)

わが国では、A/H1N1型(ソ連型)ウイルスは2002/03シーズンは1株、2003/04シーズンは3株が分離されたのみで [IDWR (16):12 ,2004参照] この亜型による流行はここ2シーズンなかった。このことから、A/H1型の流行については諸外国の情報に依存することとなった。しかし、欧米諸国および南半球諸国においてもA/H1N1型の流行は極めて小さく、分離株の大半はワクチン株であるA/ニューカレドニア/20/99類似株で、特別な抗原変異株の出現は報告されていない。一方、2001/02シーズンに初めて出現した遺伝子再集合体A/H1N2型ウイルスが2003/04シーズンも欧米諸国では少数ながら分離されたが、このヘマグルチニン(HA)の抗原性も昨シーズンと同様にA/ニューカレドニア/20/99に類似していた。このことから、WHOでは北半球2004/05シーズンのワクチン株として、昨年に引き続きA/ニューカレドニア/20/99類似株を推奨した。

一方、A/ニューカレドニア/20/99株を含む2003/04シーズン用ワクチンの接種者における血清抗体応答は、ワクチン株のみならず、抗原的に赤血球凝集抑制(HI)試験で4倍程度変異したウイルス株に対しても高い交叉反応を示した。感染症流行予測事業による抗体保有状況調査においては、A/ニューカレドニア/20/99に対する抗体保有状況が5~19歳では中程度の保有率であるが、それ以外の年齢層では依然として低いことから、この株に対する免疫増強の必要性が

示唆された。また、A/ニューカレドニア/20/99は4シーズンにわたってワクチン株として用いられ
ており、製造効率・有効性において実績がある。

以上のことから、2004/05シーズンのH1N1型ワクチン株として、昨年同様A/ニューカレドニア
/20/99を選定した。

2 . A/ワイオミング/3/2003(H3N2)

わが国ではA/H3N2型(香港型)ウイルスは、国内分離株の95%を占め、2003/04シーズンの
主流であった。2002/03シーズンに出現したA/福建/411/2003株に類似するウイルスが2003/04シ
ーズンは大半を占めるようになった。このウイルスは1997年以来A/H3N2型ウイルスの主流とな
っていたA/シドニー株類似のワクチン株A/パナマ/2007/99からHI試験による抗原性が4倍以上
ずれたウイルスで、来シーズンもこの変異株が流行の主流を占めることが予想された。さらに、
A/H3N2型分離株のすべては、A/福建/411/2003株のHA蛋白に特徴的なアミノ酸の置換
(H155T ; Q156H) をもっており、これらがワクチン株からの抗原性の違いを反映していると考え
られた。しかし、分離株の約70%はワクチン株A/パナマ/2007/99に対するフェレット抗血清とも
依然交叉反応性をもっていた。

A/パナマ株ワクチン接種者の血清抗体は、2003/04シーズンに流行したA/福建株系統のウイ
ルスとも交叉しており、ワクチンの効果は低下してはいたが依然保持されていた。しかし、来シ
ーズンにはさらに抗原変異が進むことが推測されることから、これに対してより強い免疫を与え
るためには、ワクチン株をA/福建株類似のウイルスに変更する必要があると判断された。諸外
国での流行もA/H3N2型が主流であり、分離ウイルスの多くはわが国と同様に、A/福建
/411/2003類似株であった。このことから、WHOはA/H3N2型のワクチン株としてA/福建
/411/2003類似株を推奨した。

ワクチン製造株としては発育鶏卵で分離され、しかも発育鶏卵で増殖性が高いことが条件と
なるが、A/福建/411/2003株自身はMDCK細胞分離株であり、増殖性も悪いことからワクチン製
造には適さない。そこで、この株と抗原性が類似している発育鶏卵分離株A/ワイオミング
/3/2003およびA/熊本/102/2003が検討された。A/ワイオミング/3/2003株は発育鶏卵での増殖性
が高く、数回の継代によっても抗原性の変化は見られず安定していたことから、わが国および諸
外国ではA/ワイオミング/3/2003をA/H3N2型ワクチン製造株に採用した。

各年齢層の抗体保有状況をみると、これまでワクチン株に採用されてきたA/パナマ/2007/99
に対しては、10 ~ 14歳群で80%と高い抗体保有率が見られており、それ以外の年齢層でも比
較的高い保有状況であった。しかし、流行の主流が変異株であるA/福建/411/2003類似株に
変わったことから、この類似株であるA/ワイオミング/3/2003株によるワクチン接種が望まれる。

以上のことから、2004/05シーズンのH3N2型ワクチン株として、A/ワイオミング/3/2003を選定
した。

3 . B/上海/361/2002

国内における2003/04シーズンにおいては、B型インフルエンザの流行は全体の流行の5%で
あった。B型インフルエンザウイルスは、1980年代後半から抗原的にも遺伝子的にも区別され
る2つの系統に分流している。その一つはB/ビクトリア/2/87株を代表とするビクトリア系統で、そ
の代表株であるB/山東/7/97やB/香港/330/2001類似株がここ2シーズンは国内外ともに流行の
主流を占めてきた。一方、2003/04シーズンはB/山形/16/88株に代表される山形系統に属する

株がB型分離株の94%を占め、流行の主流がビクトリア系統から山形系統に変わったことが示された。諸外国においても分離株の大半は山形系統株で、世界的にもB型インフルエンザの流行は山形系統株によるものであった。

わが国では2000/01、2001/02シーズンは山形系統からワクチン株が選定されたが、今シーズンの分離株の大半はB/上海/361/2002類似株で、これらは2001/02シーズンのワクチン株B/ヨハネスブルク/5/99からは抗原的にも遺伝的にも大きく変化していた。同様の解析結果は諸外国においても見られていたことから、WHOでは2004/05シーズン用のB型ワクチンにはB/上海/361/2002類似株を推奨した。

抗体保有状況調査においては、すべての年齢層で低い抗体保有率であり、B/上海/361/2002類似株であるB/上海/44/2003に対しても極めて低い抗体保有率であることが分かった。一方、ビクトリア系統に対する抗体保有率も高くはないが、ここ2シーズンはビクトリア系統からワクチン株が選定されたことから、この系統株が次シーズンに再流行してもある程度の基礎免疫効果が期待される。

以上のことから、2004/05シーズンのB型ウイルスワクチンには発育鶏卵での増殖性が良いB/上海/361/2002を選定した。

国立感染症研究所 ウイルス第三部

WHOインフルエンザ協力センター 小田切孝人 田代真人

(IASR2004年9月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)



海外感染症情報

* 関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ(<http://www.forth.go.jp/>)をご覧ください。

米国コロラド州でペストの発生

コロラド州保健局 2004年8月24日

<http://www.cdphe.state.co.us/release/2004/082404.html>

コロラド州および地区保健当局者は8月24日に、州内の農村部の住民や旅行者に対して、ペストに感染したげっ歯類の寄生ノミに対して予防対策を講じるよう、呼びかけ(警告)を行った。

今回の警告は、米国CDCが同日に、Weld郡に在住する54歳女性のペストの罹患を確認したことを受けて発令された。この女性患者は8月16日に発病後、現地の病院で治療を受けている。患者は8月22日に入院した。

女性患者の感染曝露場所を特定するために、州および地区保健当局、およびCDC担当者などによる共同調査が実施されている。

コロラド州公衆衛生環境局の疫学専門家は、「今回のヒト患者に先行して、州内各地で複数のネコが検査でペスト陽性となっていることから、各個人が必要な感染予防対策を講じるべき時である」と指摘した。

コロラド州/ジェファーソン郡保健環境局 2004年8月24日

ジェファーソン郡保健環境部は、郡内の郊外の地理的に離れた場所2カ所で屋外飼育されていたネコ2頭が、腺ペストに罹患していたとする確認情報を入手した。

米国ニュージャージー州でリベリアからのラッサ熱輸入例

ニュージャージー州保健局 2004年9月2日

http://www.state.nj.us/cgi-bin/dhss/njnewsletter/view_article.pl?id=2120

ニュージャージー州保健高齢者福祉局は9月2日に、Mercer郡在住の38歳男性が、米国では稀であるが、西アフリカに土着感染しているラッサ熱と呼ばれる急性ウイルス性疾患で8月28日に死亡したことを報告した。

米国CDCは本日、検査結果によりラッサ熱の診断を確定した。

問題の男性はリベリアに旅行し、そこで数カ月滞在した後、8月24日に米国のニュージャージー州に帰国した。ニュージャージー州に到着し、自宅で数時間を過ごした後、男性は吐き気、嘔吐、頭痛、発熱、筋肉痛の症状を呈し、「Capital Health System at Mercer」の緊急外来部を受診した。男性は入院となったが、4日後に死亡した。

ニュージャージー州での最も最近のラッサ熱患者は、約20年前に発生した。米国での最も最近の患者は1989年に発生した。両患者ともに旅行関連であった。

フランスでのイヌの狂犬病(モロッコからの輸入例)

WHO/CSR 2004年9月1日

フランス保健当局は、最近発生したイヌでの狂犬病症例をWHOに通知した。その症例は、ヒトや他の動物に感染伝播する機会が多数あったとされている。WHOは、関係するフランス当局が、狂犬病ウイルスが伝播する可能性がある期間中、このイヌと接触したか、接触したと考えられるヒトと動物の追跡調査を行うのに役立つよう、この警告を発した。そのイヌは飼い主に伴われて、多数の観光客がフランス各地を訪れている時期に、複数の公共の場に行っていた。

2004年8月26日パリにあるパスツール研究所は、このイヌが狂犬病に感染していたことを確認した。問題のイヌは4カ月齢のメスで、2004年7月初旬にモロッコのAgadir近郊で捕獲され、2004年7月11日にフランスに不法に輸入された。登録もワクチン接種もされていなかったこのイヌは、8月18日に狂犬病の初期症状を発症し、8月21日に死亡した。

そのイヌの外観は中型で、褐色からアンズ色の中くらいの毛の長さ、黒い鼻、長い尻尾、垂れた耳である。

この個体からヒトや他の動物への狂犬病の伝播は、8月2日から21日の間のどの時点でも発生し得た。Gironde県のボルドーに住んでいるイヌの飼い主は、しばしばイヌを連れて市内の至るところを散歩したが、最も頻りに訪れたのはPont de Pierre、Bastide、quai de Queyries、植物園の近郊、およびボルドー湖の周辺であった。

飼い主はまたイヌを伴い、以下のフランス南西部各地を旅行した。

- ・8月2日 Hostens(Gironde県)
- ・8月5日 Périgueuxの祭り(Dordogne県)
- ・8月7～8日 Miramont de Guyenneの街道祭り(Lot県とGaronne県)
- ・8月12～14日 Libourneの音楽祭(Gironde県)

8月2日から21日までの期間中に、狂犬病に感染したこのイヌは複数のヒトとイヌに接触し、一部のヒトに噛みついたことが知られている。その中の数名が確認されて狂犬病の治療を受けた。

フランス当局は現在、感染可能な期間中にこのイヌと接触した可能性のある、これ以外のヒトと動物を緊急に捜している。

チャド西部でのコレラ流行

WHO/CSR 2004年9月1日

2004年6月14日から8月22日の間に、国内東部にある難民キャンプからある程度離れたチャド西部で、コレラによる患者2,046名と死亡者98名(致死率:4.8%)が報告された。流行はヌジャメナ北部のMassaguet(Hadjar Lamine)で始まった。そこからLac地域およびKanem地域に広がり、同様に首都ヌジャメナに拡大した。前週には、ヌジャメナで新たに患者453名が発生した。

最も危険性が高いとされているDarfurからの難民が集結しているチャド東部からは、患者は1例も報告されていない。雨季が進行中であり、生活用水は不十分な上、衛生状態も悪い。

チャドでのE型肝炎 - 更新

WHO/CSR 2004年8月31日

2004年7月26日から8月20日の間に、チャドのGoz AmerおよびGoz Beida地区から、E型肝炎が疑われる患者959名と死亡者30名が報告されている。

WHOからの疫学者2名と物流担当者(logistician)1名、フランス政府から派遣された飲料水・衛生技師1名、および米国CDCの疫学者1名からなる専門家チームが感染地区に向かっている。同チームは感染源を特定し、サーベイランスを強化し、流行制圧対策を評価・実施するために、疫学調査を行う予定である。また、飲料水の水質を評価し、感染地区での清潔で安全な飲料水を確保するための勧告を行う予定である。

WHO/CSR 2004年9月6日

2004年7月26日から9月2日の間に、Goz Amer難民キャンプ(患者数973名、死亡者数31名)およびGoz Abal難民キャンプ(患者数63名、死亡者数3名) ならびに近隣の自治体のKoukou , Am-Ouchar , Am-Bitin , Habile , Aradibeから、E型肝炎が疑われる患者1,077名と死亡者35名(致死率3.2%)が報告された。

WHOの調査チームは9月2日土曜日に、Goz Amer難民キャンプ近郊のKoukouに到着した。同チームはE型肝炎のリスク因子を特定し、難民への飲料水および衛生措置を含む適切な制圧対策を勧告する予定である。



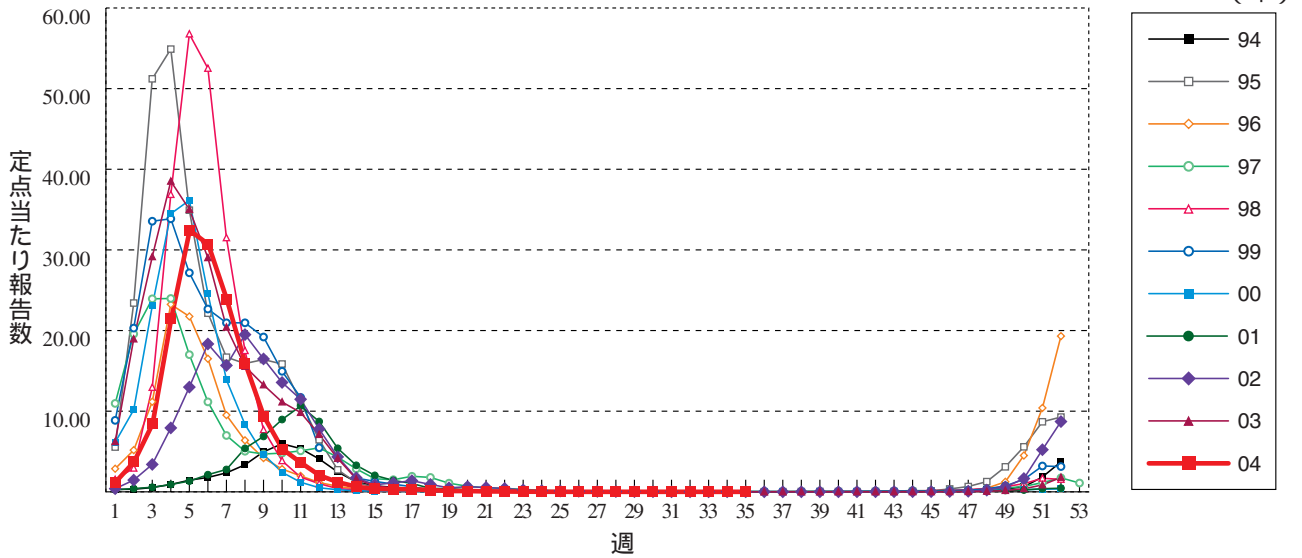
感染症の話

今週はお休みさせていただきます。
「感染症の話」過去の掲載分については
<http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/index.html>
でご覧いただけます。

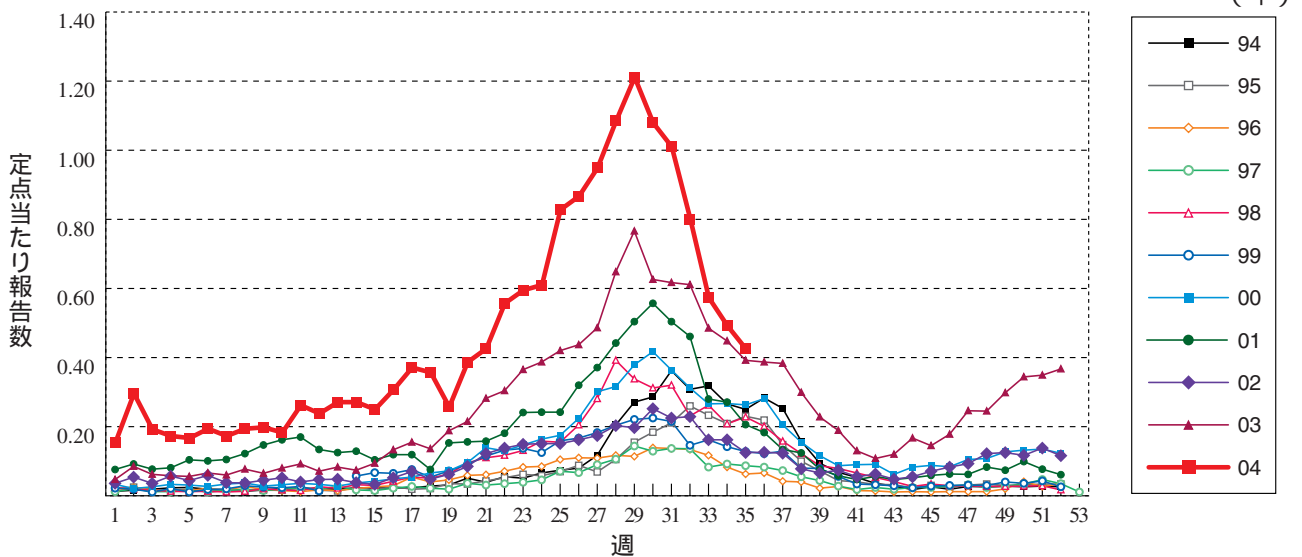


グラフ総覧(35週)

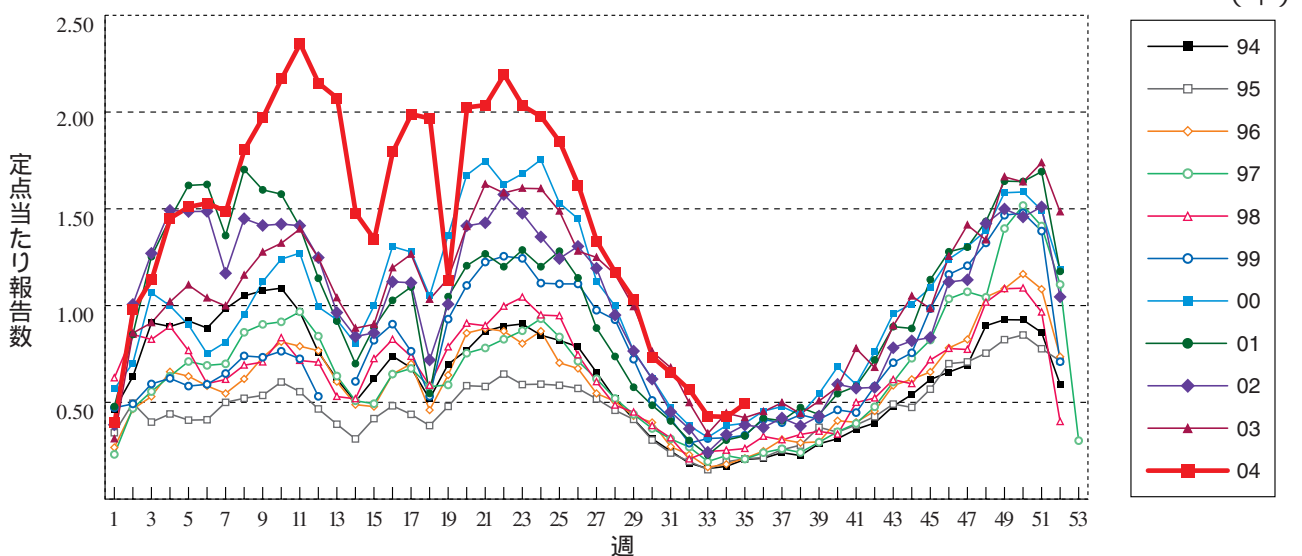
インフルエンザ



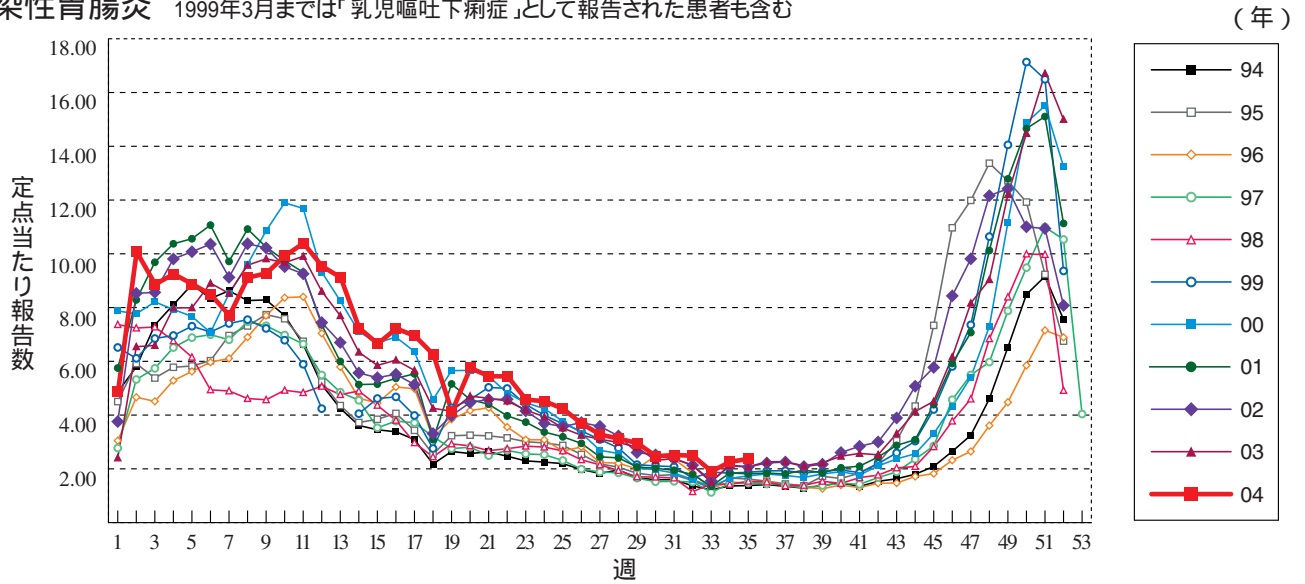
咽頭結膜熱



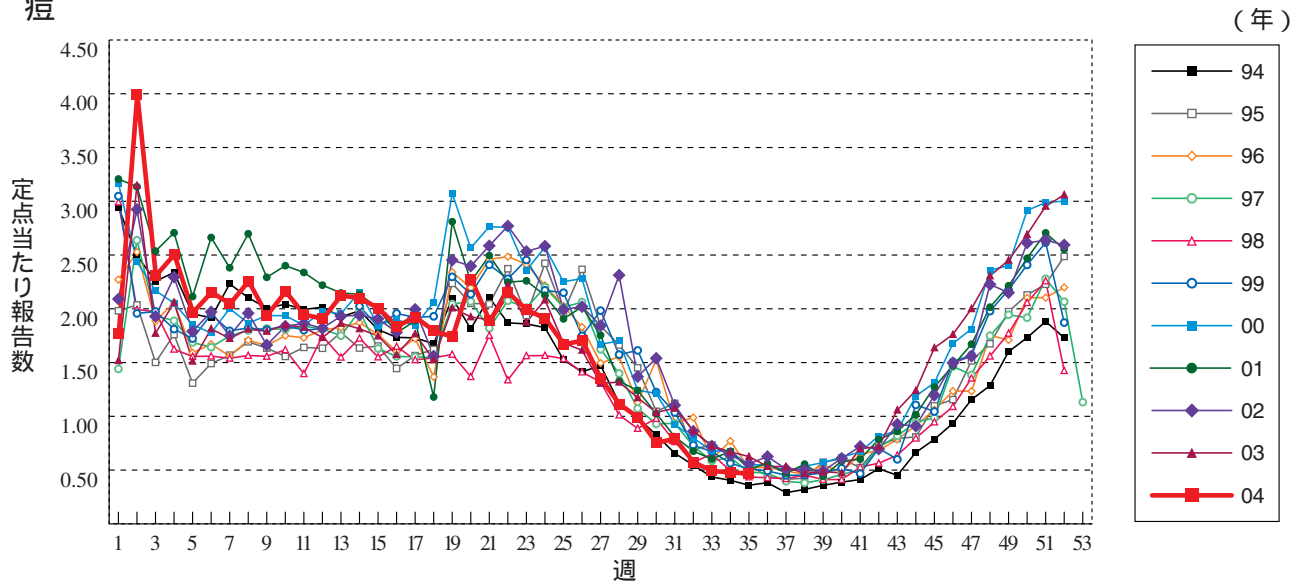
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



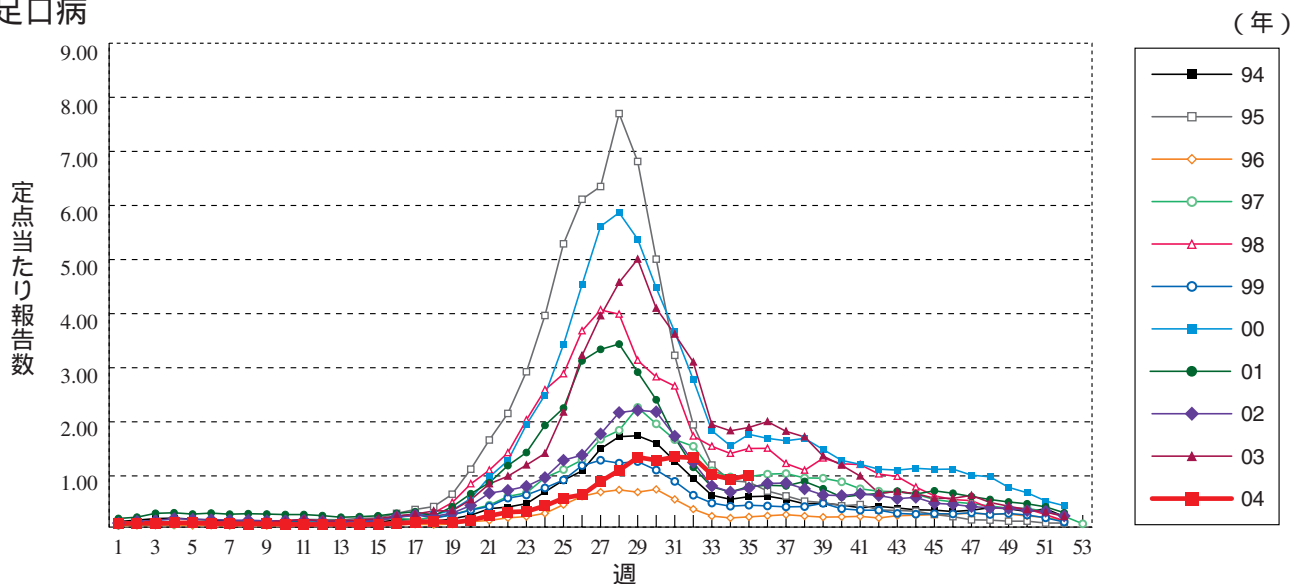
感染性胃腸炎 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



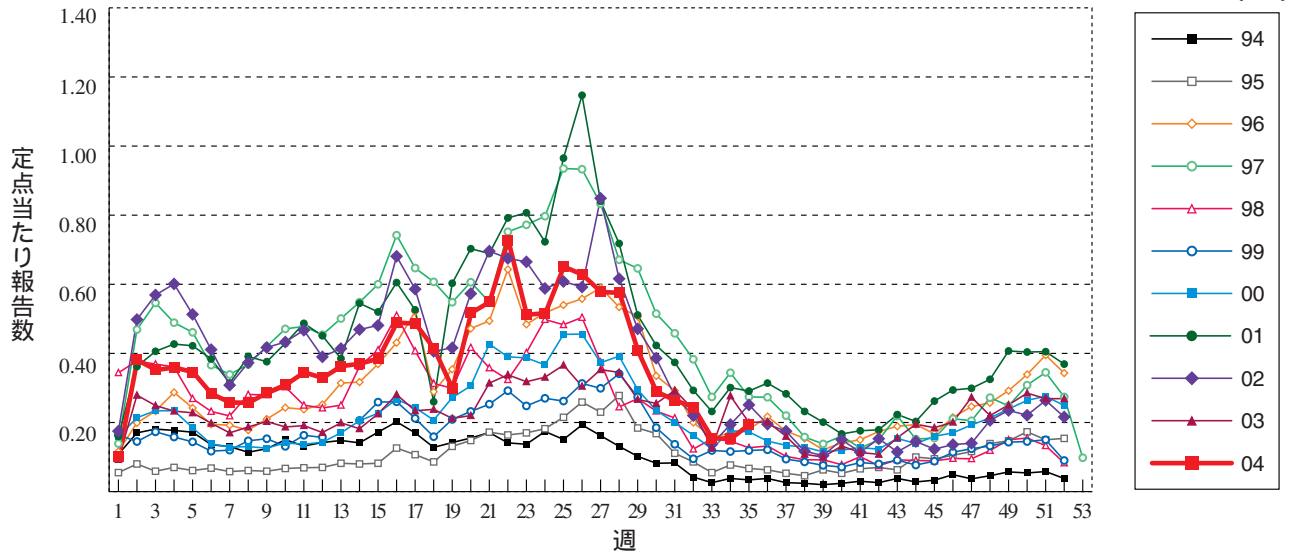
水痘



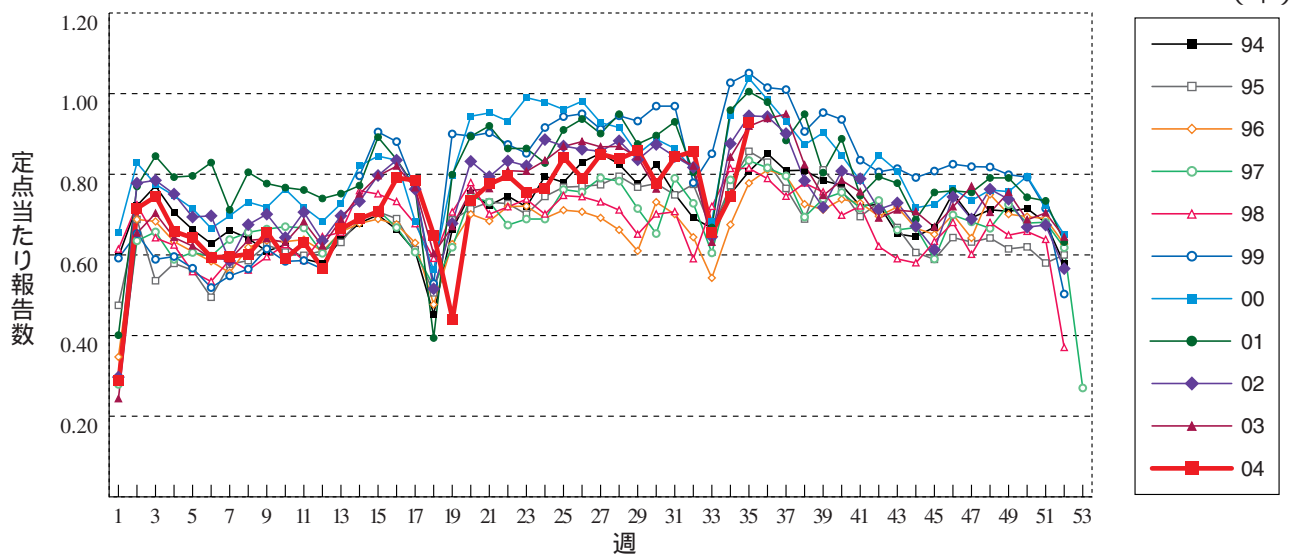
手足口病



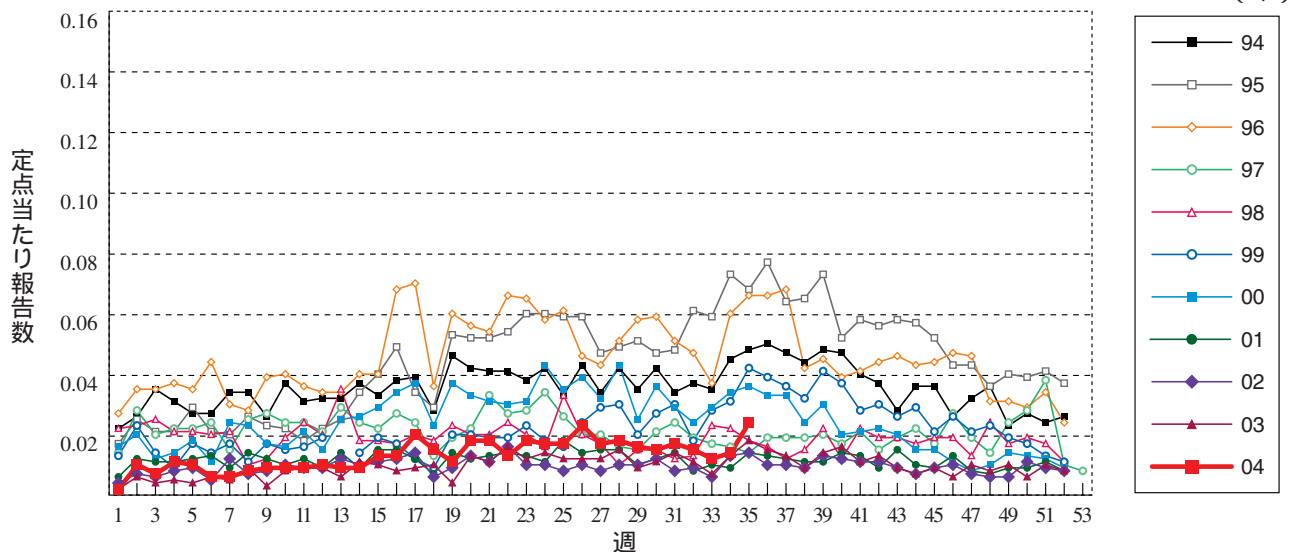
伝染性紅斑



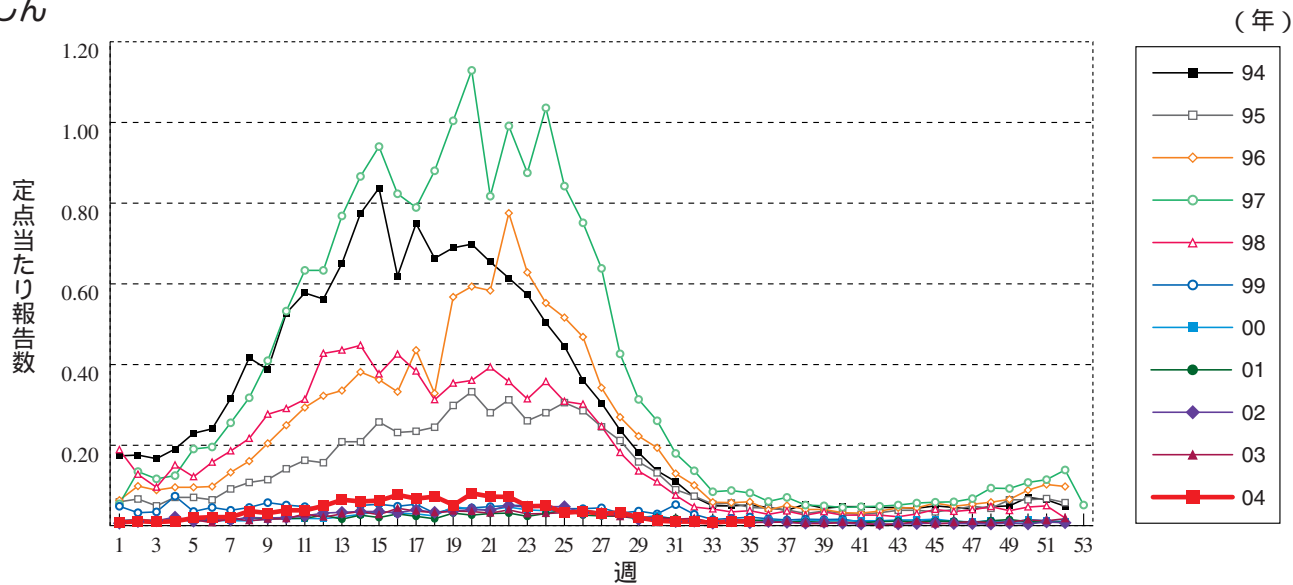
突発性発しん



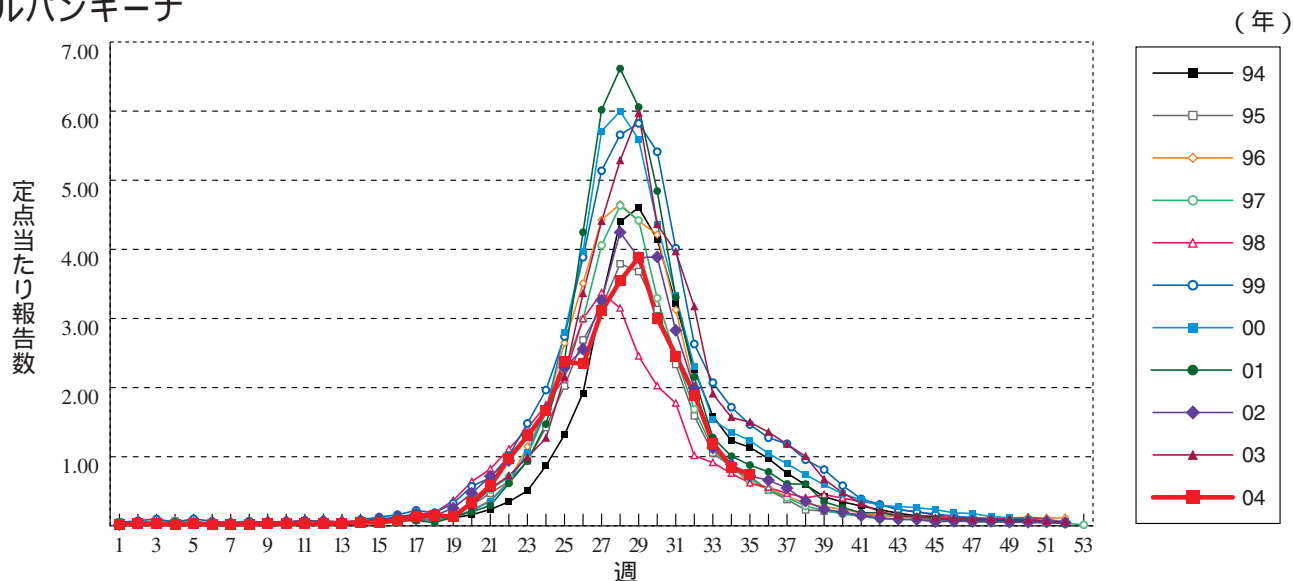
百日咳



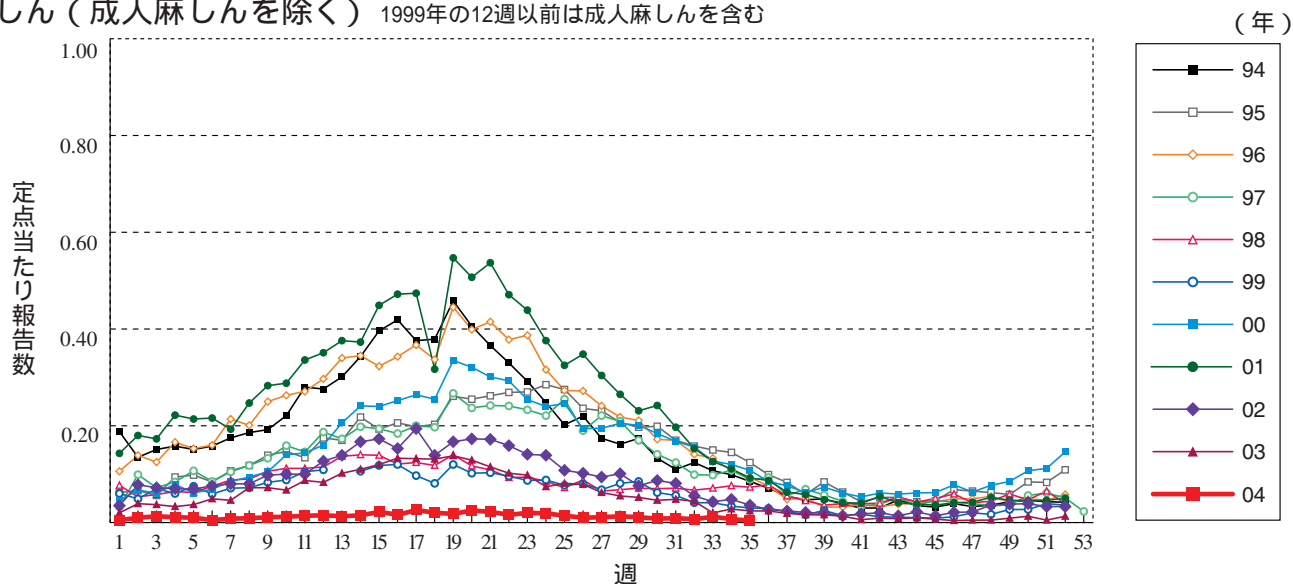
風しん



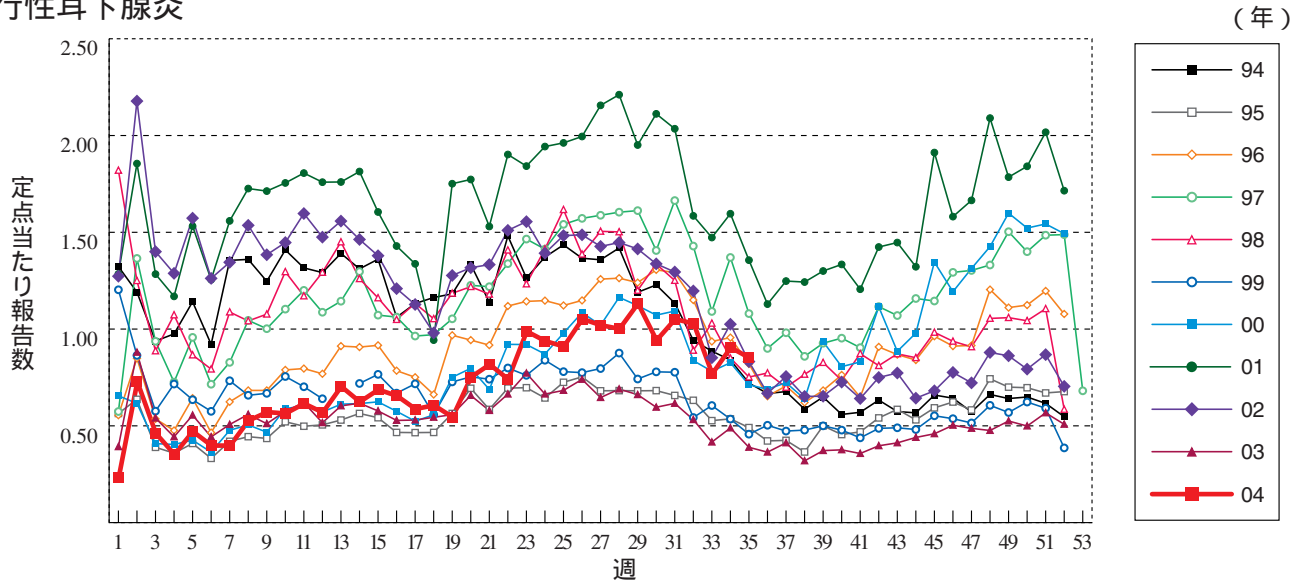
ヘルパンギーナ



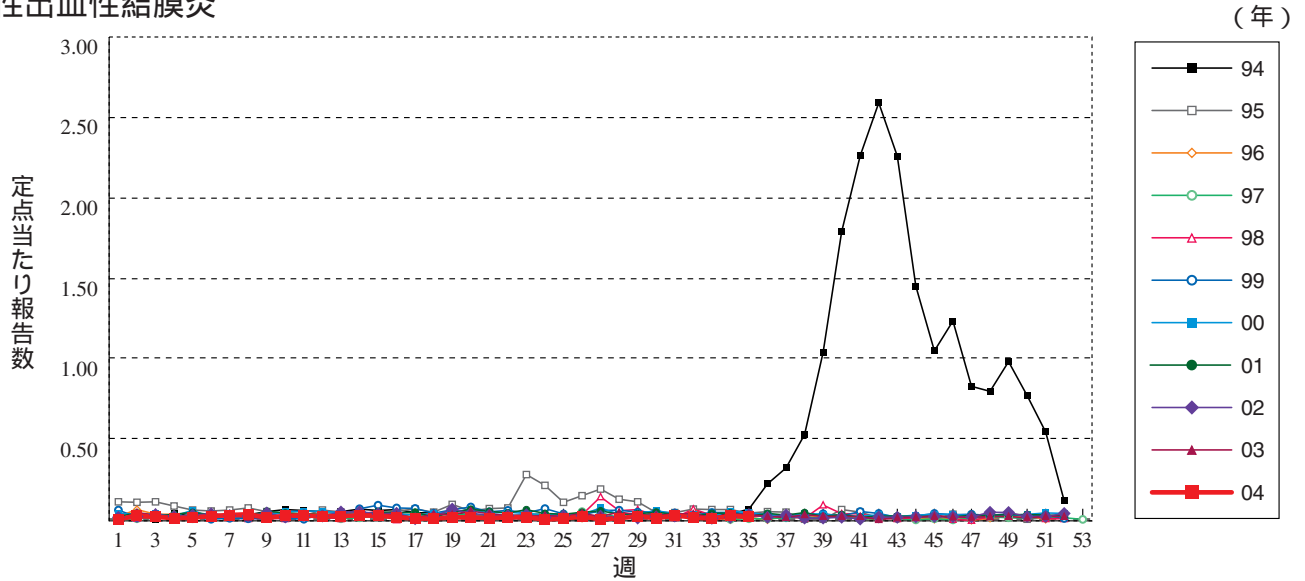
麻しん (成人麻しんを除く) 1999年の12週以前は成人麻しんを含む



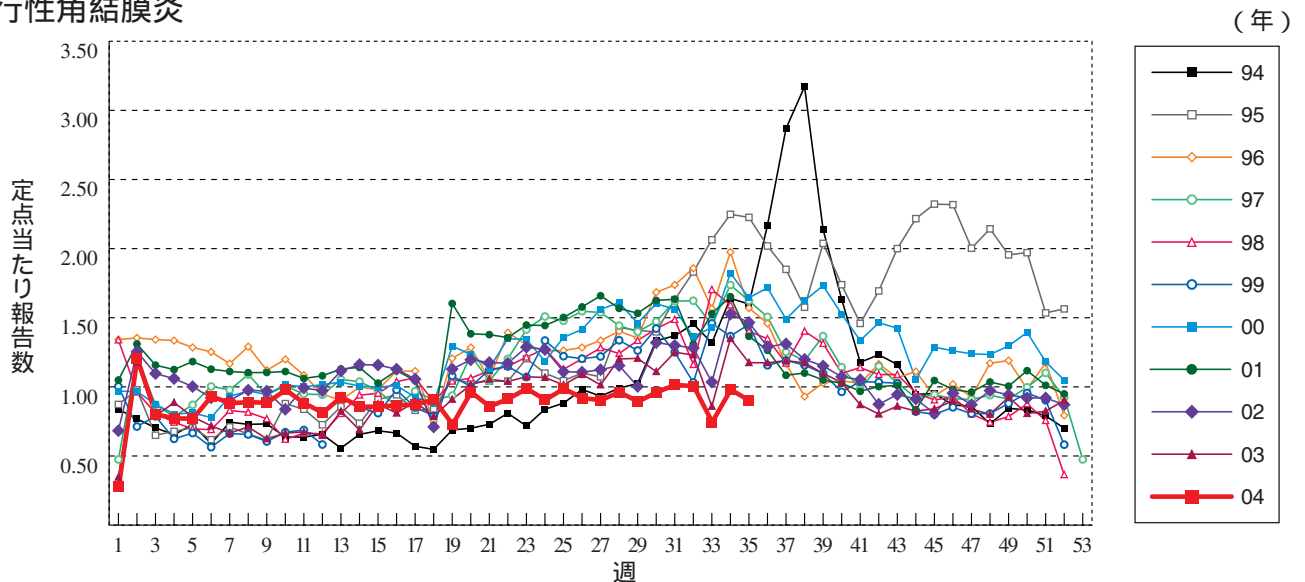
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

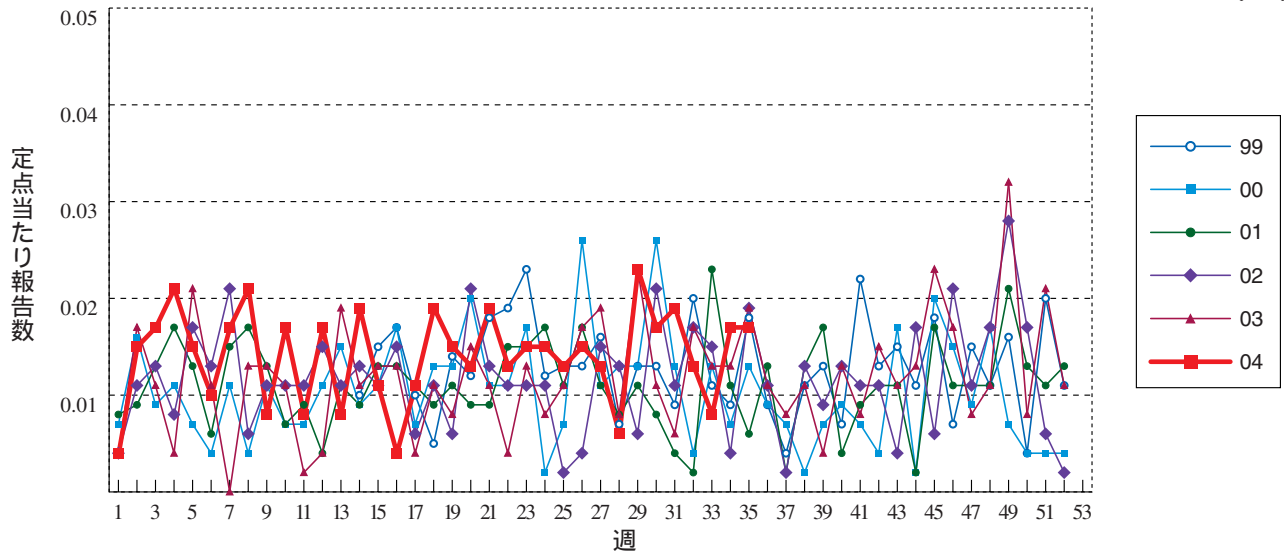


流行性角結膜炎



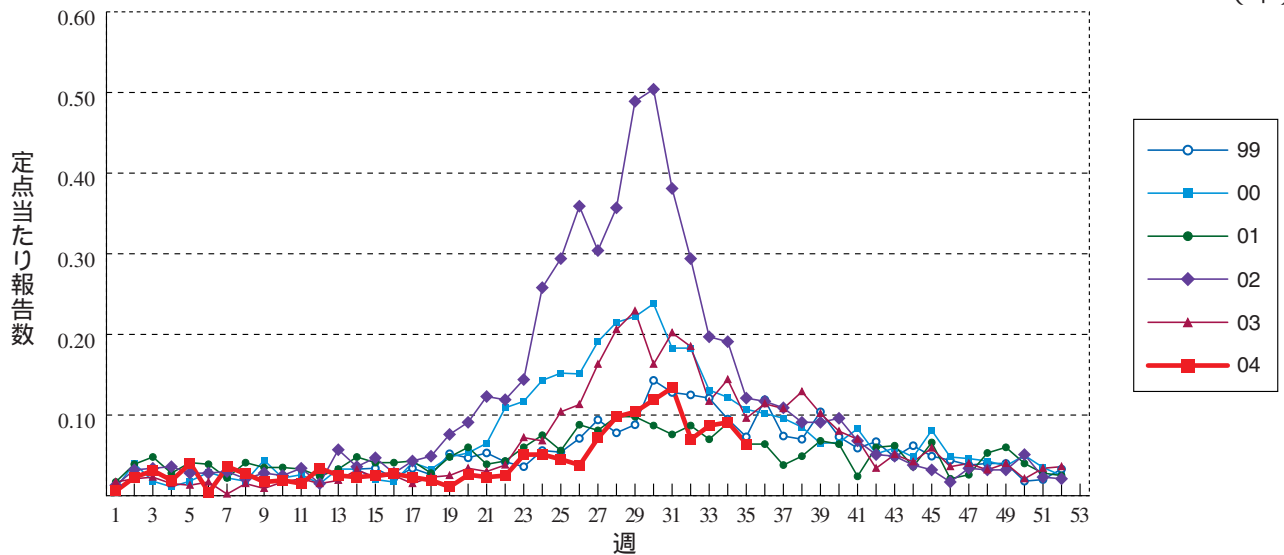
細菌性髄膜炎

(年)



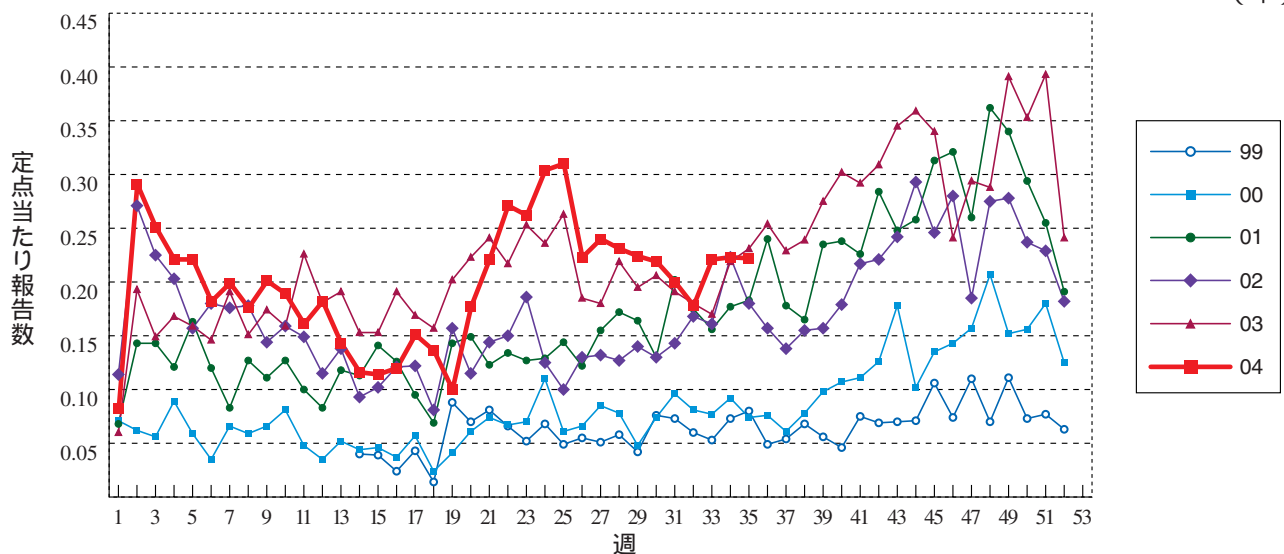
無菌性髄膜炎

(年)



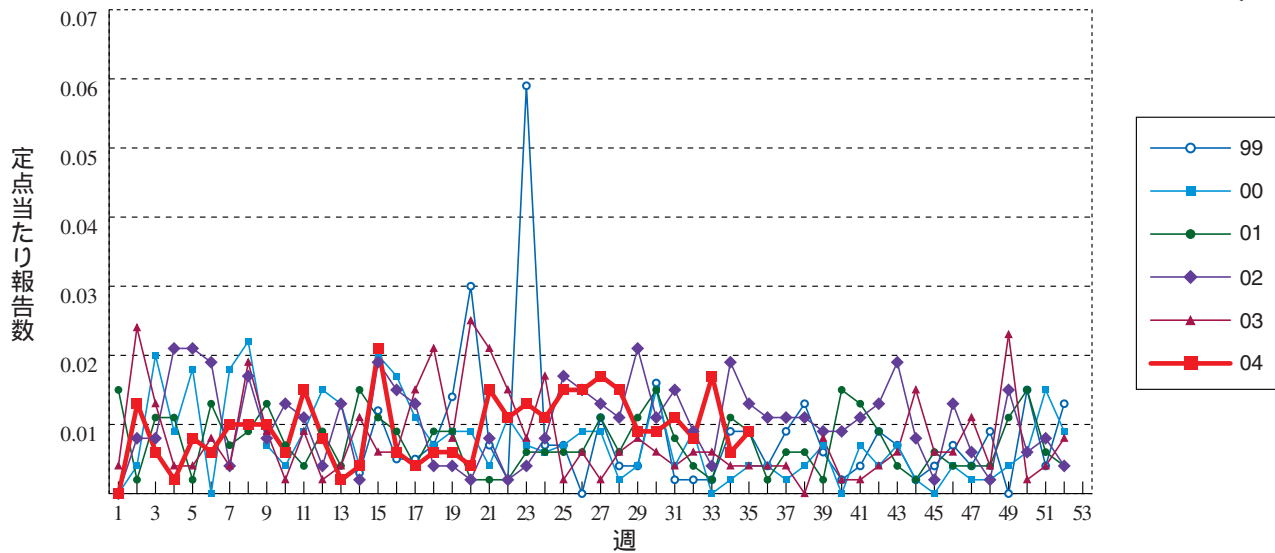
マイコプラズマ肺炎

(年)



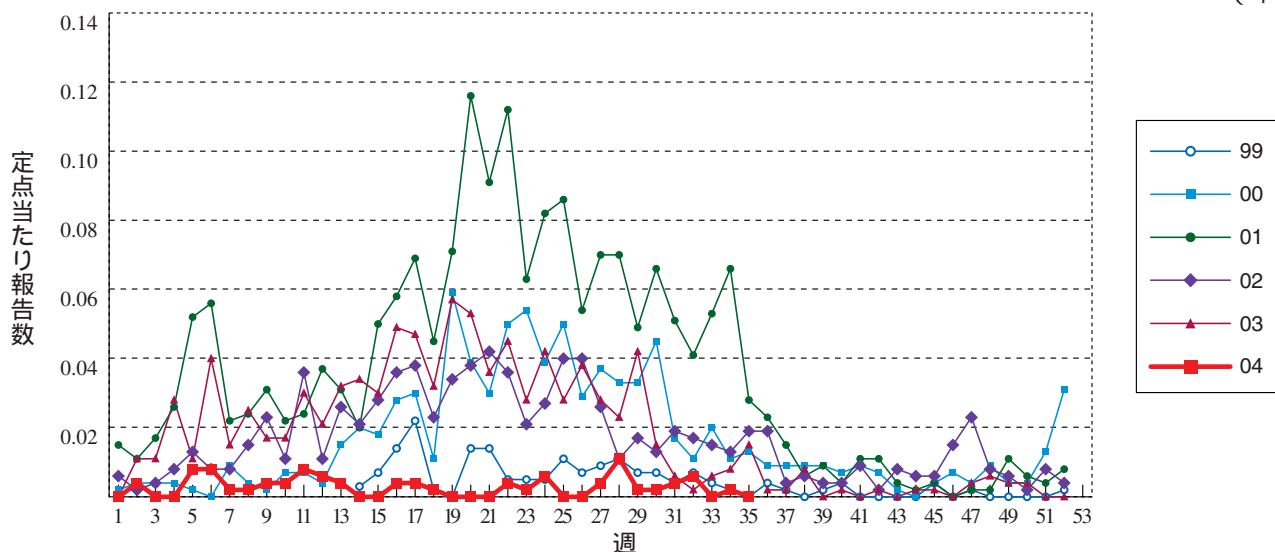
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



成人麻疹

(年)





35週のデータ

注)表中の報告数は9月2日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。
表の最後の注釈を参照して下さい。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

平成16年35週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		パラチフス	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	51	15	347	3	43	1	53
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	12	-	2	-	2
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	-	1	-	2	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	1	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	7	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	6	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	1
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	19	-	1	-	3
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	26	-	3	-	5
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7	5	77	-	10	1	13
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	15	1	4	-	2
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	2
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	1	1	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	5	-	2	-	1
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	1
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	3	-	-	-	1
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	4	2	17	1	2	-	8
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	1
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	1	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	10	-	1	-	4
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	34	-	3	-	3
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	1	17	-	5	-	1
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	2
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	2	-	1	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	11	-	1	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	9	-	1	-	1
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	1
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年35週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	216	2545	11	387	-	20	-	-	-	31	-	-	3	185
北海道	-	-	-	-	6	46	-	9	-	20	-	-	-	1	-	-	-	7
青森県	-	-	-	-	3	16	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2
岩手県	-	-	-	-	5	38	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	18	96	-	7	-	-	-	-	-	1	-	-	1	3
秋田県	-	-	-	-	7	37	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山形県	-	-	-	-	1	15	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	6	34	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	14	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3
栃木県	-	-	-	-	1	26	-	4	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
群馬県	-	-	-	-	11	64	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
埼玉県	-	-	-	-	9	66	1	14	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4
千葉県	-	-	-	-	4	95	-	24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
東京都	-	-	-	-	7	190	5	95	-	-	-	-	-	2	-	-	1	38
神奈川県	-	-	-	-	7	67	-	21	-	-	-	-	-	2	-	-	-	9
新潟県	-	-	-	-	-	20	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	1	14	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
石川県	-	-	-	-	2	165	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福井県	-	-	-	-	-	31	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	1	4	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
長野県	-	-	-	-	11	52	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	1	28	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
静岡県	-	-	-	-	1	47	-	14	-	-	-	-	-	3	-	-	-	3
愛知県	-	-	-	-	11	124	-	34	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4
三重県	-	-	-	-	5	72	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	2	18	-	6	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
京都府	-	-	-	-	6	51	1	17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
大阪府	-	-	-	-	11	155	3	43	-	-	-	-	-	6	-	-	-	19
兵庫県	-	-	-	-	5	104	-	17	-	-	-	-	-	-	-	-	1	16
奈良県	-	-	-	-	1	36	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
和歌山県	-	-	-	-	4	14	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
鳥取県	-	-	-	-	3	17	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	1	11	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
岡山県	-	-	-	-	12	153	-	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
広島県	-	-	-	-	7	65	-	8	-	-	-	-	-	1	-	-	-	8
山口県	-	-	-	-	8	40	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
徳島県	-	-	-	-	1	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
香川県	-	-	-	-	1	53	-	3	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	3	71	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
高知県	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
福岡県	-	-	-	-	12	109	-	15	-	-	-	-	-	3	-	-	-	4
佐賀県	-	-	-	-	-	27	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	2	64	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	11	71	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
大分県	-	-	-	-	2	22	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
宮崎県	-	-	-	-	3	27	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
鹿児島県	-	-	-	-	2	35	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
沖縄県	-	-	-	-	1	24	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年35週

	Q 熱		狂 犬 病		クリプトスボルジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		コクシジ オイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	5	-	-	2	8	1	109	-	42	7	751	-	2	2	55	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	6	-	2	-	8	-	-	-	2	-	-
青森県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	8	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	3	-	-	-	1	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	15	-	-	-	1	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	9	-	-	-	1	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	6	-	-	-	1	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	1	-	4	-	1	-	26	-	-	-	1	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	2	-	37	-	-	-	5	-	-
東京都	-	1	-	-	2	7	-	9	-	5	1	285	-	-	1	16	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	7	-	2	-	45	-	1	-	1	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	5	-	-	-	2	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	28	-	1	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	1	6	-	2	1	25	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2	2	49	-	-	-	2	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	1	-	-
京都府	-	1	-	-	-	-	-	5	-	-	-	13	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	6	-	4	2	76	-	-	-	6	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	7	-	4	-	15	-	-	-	4	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	2	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	3	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	2	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	12	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
香川県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	1	-	-	-	-	-	4	-	3	-	12	-	-	-	1	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	10	-	-	1	2	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年35週

	髄膜炎菌性 髄膜炎		先天性風しん 症候群		炭 疽		つつが虫病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		梅 毒		破 傷 風	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	17	-	5	-	-	-	97	2	25	5	31	-	1	6	325	-	60
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	3
青森県	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	4	-	2
茨城県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	6	-	1
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	3	-	3
埼玉県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	1
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	1	2	-	-	-	7	-	2
東京都	-	4	-	3	-	-	-	5	2	17	-	-	-	-	1	43	-	1
神奈川県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	9	-	2
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
長野県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	3	-	3
岐阜県	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	8	-	2
愛知県	-	2	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-	22	-	1
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	1
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2
京都府	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	12	-	1
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	44	-	2
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	1	10	-	1	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	3	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
鳥取県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	6	-	-	-	1	-	1
岡山県	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	6	-	2
広島県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	1	-	6	-	1
山口県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	9	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	6	-	1
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	7	-	-	-	4	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	20	-	1
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	1	19	-	2
大分県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	1	-	-	-	8	-	-
宮崎県	-	1	-	-	-	-	-	10	-	-	-	2	-	-	-	4	-	3
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	29	-	-	-	2	-	-	1	6	-	5
沖縄県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年35週

	バンコマイシン 耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス 肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発しんチフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	2	37	-	-	-	-	-	-	-	-	2	41	-	2	1	90
北海道	1	6	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	3
秋田県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	3
茨城県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	3
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
埼玉県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	1	6	-	-	-	-	-	-	-	-	15	-	-	-	-	12
神奈川県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	3
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	2
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
静岡県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
愛知県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	7
三重県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
大阪府	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	5
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	2
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
鳥取県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
島根県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1
岡山県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	3
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	3

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年35週

	重症急性 呼吸器症候群		痘 そ う		E型肝炎		ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)		A型肝炎		高病原性鳥 インフルエンザ		サ ル 痘		ニバウイルス 感染症		ポツリヌス症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	21	-	-	2	102	-	-	-	-	-	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	1	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	2	5	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	2	-	-	-	19	-	-	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	3	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成16年35週

	野 兎 病		リッサウイルス感染症		レプトスピラ症		急性脳炎		バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	2	-	47	-	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
東京都	-	-	-	-	2	-	5	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

全数把握疾患表注釈

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(施行日: 平成15年11月5日、IDWR週報2003年43号参照)により、全数把握疾患の対象疾患、分類、疾患名の記載方法が一部変更されました。

表でみる「重症急性呼吸器症候群」以降の14の疾患は新システムでの追加疾患、および変更疾患(「乳児ボツリヌス症」「ボツリヌス症」「定点疾患「急性脳炎」全数疾患「急性脳炎」)です。「ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)」は平成14年11月に追加された疾患です。

旧システムにおける「ウイルス性肝炎」に含まれていた「E型肝炎」「A型肝炎」が独立した疾患となり、新システムにおける「ウイルス性肝炎」はE型肝炎、A型肝炎を除く肝炎となります。

注)表の最後の注釈を参照して下さい。

報告数・定点当り報告数、疾病・都道府県別

平成16年35週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	7	0.00	1292	0.43	1502	0.49	7208	2.37	1427	0.47	2938	0.97	591	0.19	2825	0.93	73	0.02
北海道	-	-	66	0.46	138	0.97	159	1.11	51	0.36	335	2.34	21	0.15	128	0.90	3	0.02
青森県	-	-	17	0.40	7	0.17	40	0.95	24	0.57	21	0.50	3	0.07	30	0.71	-	-
岩手県	-	-	11	0.30	11	0.30	46	1.24	7	0.19	22	0.59	11	0.30	28	0.76	3	0.08
宮城県	-	-	15	0.25	33	0.56	124	2.10	15	0.25	35	0.59	32	0.54	56	0.95	2	0.03
秋田県	-	-	11	0.31	10	0.29	67	1.91	12	0.34	7	0.20	2	0.06	25	0.71	-	-
山形県	-	-	10	0.33	28	0.93	41	1.37	4	0.13	4	0.13	8	0.27	29	0.97	-	-
福島県	-	-	11	0.23	28	0.58	167	3.48	23	0.48	20	0.42	8	0.17	43	0.90	2	0.04
茨城県	-	-	18	0.24	35	0.47	101	1.36	31	0.42	53	0.72	5	0.07	56	0.76	-	-
栃木県	-	-	7	0.15	6	0.13	68	1.48	17	0.37	8	0.17	4	0.09	26	0.57	-	-
群馬県	-	-	50	0.81	24	0.39	141	2.27	24	0.39	10	0.16	11	0.18	46	0.74	-	-
埼玉県	3	0.01	84	0.54	53	0.34	306	1.95	67	0.43	58	0.37	35	0.22	173	1.10	4	0.03
千葉県	-	-	22	0.16	44	0.33	219	1.63	54	0.40	71	0.53	32	0.24	106	0.79	7	0.05
東京都	-	-	38	0.27	28	0.20	272	1.92	46	0.32	78	0.55	24	0.17	111	0.78	-	-
神奈川県	-	-	32	0.16	66	0.32	385	1.89	68	0.33	90	0.44	38	0.19	177	0.87	4	0.02
新潟県	-	-	27	0.45	45	0.75	119	1.98	35	0.58	83	1.38	27	0.45	52	0.87	-	-
富山県	-	-	11	0.38	36	1.24	110	3.79	22	0.76	51	1.76	4	0.14	30	1.03	-	-
石川県	-	-	13	0.45	11	0.38	115	3.97	19	0.66	31	1.07	11	0.38	31	1.07	-	-
福井県	-	-	56	2.55	13	0.59	112	5.09	36	1.64	50	2.27	5	0.23	28	1.27	1	0.05
山梨県	-	-	7	0.28	15	0.60	49	1.96	5	0.20	17	0.68	1	0.04	11	0.44	-	-
長野県	-	-	47	0.85	45	0.82	189	3.44	20	0.36	118	2.15	21	0.38	41	0.75	1	0.02
岐阜県	-	-	30	0.57	11	0.21	81	1.53	21	0.40	19	0.36	8	0.15	39	0.74	4	0.08
静岡県	-	-	48	0.56	26	0.30	280	3.26	38	0.44	61	0.71	9	0.10	98	1.14	2	0.02
愛知県	-	-	42	0.23	71	0.39	399	2.19	85	0.47	80	0.44	40	0.22	153	0.84	3	0.02
三重県	-	-	21	0.47	16	0.36	190	4.22	35	0.78	24	0.53	6	0.13	58	1.29	1	0.02
滋賀県	-	-	33	1.00	3	0.09	43	1.30	16	0.48	9	0.27	4	0.12	27	0.82	-	-
京都府	-	-	15	0.20	22	0.29	215	2.83	38	0.50	44	0.58	11	0.14	37	0.49	2	0.03
大阪府	-	-	63	0.32	103	0.53	428	2.19	84	0.43	138	0.71	24	0.12	168	0.86	8	0.04
兵庫県	3	0.02	20	0.16	59	0.46	256	2.00	55	0.43	109	0.85	31	0.24	111	0.87	2	0.02
奈良県	-	-	12	0.34	13	0.37	73	2.09	16	0.46	15	0.43	3	0.09	26	0.74	3	0.09
和歌山県	-	-	26	0.84	15	0.48	64	2.06	42	1.35	15	0.48	4	0.13	28	0.90	-	-
鳥取県	-	-	11	0.58	19	1.00	73	3.84	8	0.42	9	0.47	4	0.21	31	1.63	-	-
島根県	-	-	12	0.52	7	0.30	72	3.13	3	0.13	8	0.35	5	0.22	25	1.09	-	-
岡山県	-	-	18	0.33	14	0.26	191	3.54	30	0.56	26	0.48	11	0.20	53	0.98	2	0.04
広島県	-	-	69	0.92	29	0.39	278	3.71	30	0.40	37	0.49	17	0.23	63	0.84	3	0.04
山口県	-	-	21	0.43	42	0.86	193	3.94	23	0.47	28	0.57	13	0.27	65	1.33	-	-
徳島県	-	-	7	0.30	21	0.91	54	2.35	9	0.39	7	0.30	4	0.17	28	1.22	-	-
香川県	-	-	8	0.25	9	0.28	67	2.09	21	0.66	14	0.44	6	0.19	29	0.91	1	0.03
愛媛県	-	-	15	0.38	27	0.69	155	3.97	21	0.54	59	1.51	-	-	66	1.69	-	-
高知県	-	-	31	1.00	9	0.29	41	1.32	9	0.29	79	2.55	3	0.10	24	0.77	-	-
福岡県	1	0.01	48	0.40	97	0.81	408	3.40	94	0.78	305	2.54	32	0.27	145	1.21	4	0.03
佐賀県	-	-	6	0.26	8	0.35	24	1.04	29	1.26	61	2.65	11	0.48	44	1.91	-	-
長崎県	-	-	16	0.36	18	0.41	75	1.70	16	0.36	69	1.57	2	0.05	41	0.93	1	0.02
熊本県	-	-	82	1.67	25	0.51	162	3.31	16	0.33	98	2.00	7	0.14	53	1.08	-	-
大分県	-	-	6	0.17	57	1.58	182	5.06	20	0.56	145	4.03	11	0.31	47	1.31	-	-
宮崎県	-	-	57	1.54	32	0.86	180	4.86	25	0.68	166	4.49	6	0.16	62	1.68	6	0.16
鹿児島県	-	-	12	0.22	40	0.73	171	3.11	40	0.73	118	2.15	7	0.13	65	1.18	3	0.05
沖縄県	-	-	10	0.29	33	0.97	23	0.68	23	0.68	33	0.97	9	0.26	12	0.35	1	0.03

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成16年35週

	風しん		ヘルパンギーナ		麻しん (成人麻しんを除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ 肺炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	29	0.01	2251	0.74	13	0.00	2591	0.85	15	0.02	573	0.90	8	0.02	30	0.06	104	0.22
北海道	6	0.04	141	0.99	-	-	65	0.45	-	-	22	0.76	-	-	-	-	13	0.57
青森県	-	-	135	3.21	-	-	19	0.45	-	-	4	0.36	-	-	-	-	1	0.17
岩手県	-	-	67	1.81	-	-	17	0.46	-	-	7	0.58	-	-	1	0.05	3	0.15
宮城県	1	0.02	114	1.93	-	-	30	0.51	1	0.09	6	0.55	-	-	-	-	3	0.25
秋田県	-	-	89	2.54	1	0.03	11	0.31	-	-	4	0.57	-	-	-	-	7	1.00
山形県	-	-	27	0.90	-	-	22	0.73	-	-	4	0.50	-	-	1	0.10	5	0.50
福島県	2	0.04	70	1.46	1	0.02	27	0.56	-	-	25	2.08	-	-	-	-	3	0.43
茨城県	1	0.01	36	0.49	-	-	26	0.35	-	-	24	1.50	-	-	-	-	3	0.27
栃木県	-	-	20	0.43	-	-	16	0.35	1	0.08	8	0.67	-	-	1	0.14	2	0.29
群馬県	-	-	53	0.85	-	-	48	0.77	-	-	37	2.64	-	-	1	0.10	2	0.20
埼玉県	2	0.01	85	0.54	-	-	172	1.10	-	-	32	0.86	-	-	-	-	-	-
千葉県	1	0.01	68	0.51	2	0.01	131	0.98	3	0.09	18	0.55	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	72	0.51	3	0.02	64	0.45	-	-	20	1.43	-	-	-	-	1	0.04
神奈川県	1	0.00	131	0.64	-	-	148	0.73	1	0.02	50	1.19	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	95	1.58	-	-	58	0.97	-	-	1	0.11	2	0.17	1	0.08	7	0.58
富山県	-	-	33	1.14	-	-	8	0.28	-	-	2	0.29	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	5	0.17	-	-	6	0.21	-	-	2	0.29	-	-	-	-	3	0.60
福井県	-	-	9	0.41	-	-	55	2.50	-	-	1	0.33	-	-	-	-	4	0.67
山梨県	-	-	19	0.76	-	-	2	0.08	2	0.67	-	-	-	-	2	0.20	4	0.40
長野県	-	-	90	1.64	-	-	21	0.38	-	-	1	0.09	-	-	-	-	1	0.09
岐阜県	-	-	37	0.70	-	-	76	1.43	-	-	3	0.25	-	-	-	-	-	-
静岡県	1	0.01	84	0.98	-	-	90	1.05	-	-	6	0.30	1	0.10	-	-	1	0.10
愛知県	1	0.01	70	0.38	-	-	237	1.30	1	0.03	51	1.46	-	-	-	-	6	0.46
三重県	-	-	29	0.64	-	-	22	0.49	-	-	4	0.33	1	0.11	1	0.11	1	0.11
滋賀県	2	0.06	22	0.67	-	-	15	0.45	-	-	1	0.14	-	-	2	0.29	2	0.29
京都府	-	-	31	0.41	1	0.01	35	0.46	-	-	11	0.61	-	-	-	-	-	-
大阪府	1	0.01	76	0.39	2	0.01	233	1.19	-	-	23	0.47	1	0.07	4	0.27	2	0.13
兵庫県	-	-	59	0.46	-	-	97	0.76	1	0.03	23	0.66	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	11	0.31	-	-	18	0.51	-	-	6	0.67	-	-	-	-	1	0.17
和歌山県	2	0.06	12	0.39	-	-	63	2.03	-	-	2	0.50	-	-	1	0.09	3	0.27
鳥取県	-	-	8	0.42	-	-	8	0.42	-	-	-	-	-	-	2	0.40	-	-
島根県	1	0.04	12	0.52	-	-	13	0.57	-	-	-	-	-	-	1	0.13	-	-
岡山県	-	-	30	0.56	-	-	37	0.69	-	-	5	0.42	-	-	-	-	3	0.60
広島県	2	0.03	53	0.71	-	-	113	1.51	3	0.15	39	1.95	-	-	4	0.21	3	0.16
山口県	-	-	55	1.12	-	-	54	1.10	-	-	9	1.00	-	-	-	-	7	0.78
徳島県	-	-	12	0.52	-	-	9	0.39	-	-	-	-	1	0.14	-	-	-	-
香川県	-	-	12	0.38	-	-	25	0.78	-	-	7	2.33	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	25	0.64	-	-	37	0.95	1	0.14	18	2.57	-	-	2	0.33	1	0.17
高知県	-	-	23	0.74	-	-	15	0.48	-	-	6	2.00	-	-	-	-	1	0.11
福岡県	2	0.02	72	0.60	1	0.01	240	2.00	-	-	16	0.62	-	-	-	-	3	0.20
佐賀県	-	-	9	0.39	-	-	78	3.39	-	-	1	0.25	-	-	1	0.17	3	0.50
長崎県	-	-	8	0.18	-	-	17	0.39	1	0.13	6	0.75	-	-	-	-	1	0.08
熊本県	-	-	45	0.92	-	-	21	0.43	-	-	13	1.44	-	-	4	0.27	1	0.07
大分県	-	-	41	1.14	-	-	32	0.89	-	-	1	0.20	1	0.09	-	-	-	-
宮崎県	1	0.03	28	0.76	-	-	36	0.97	-	-	4	1.00	1	0.14	1	0.14	1	0.14
鹿児島県	-	-	20	0.36	1	0.02	22	0.40	-	-	6	0.86	-	-	-	-	-	-
沖縄県	2	0.06	8	0.24	1	0.03	2	0.06	-	-	44	4.40	-	-	-	-	2	0.29

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成16年35週

	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻しん		RSウイルス 感染症
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	
総 数	4	0.01	-	-	33
北海道	-	-	-	-	3
青森県	-	-	-	-	3
岩手県	-	-	-	-	...
宮城県	-	-	-	-	3
秋田県	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	3
茨城県	-	-	-	-	...
栃木県	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	...
埼玉県	-	-	-	-	2
千葉県	1	0.11	-	-	-
東京都	-	-	-	-	1
神奈川県	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-
山梨県	2	0.20	-	-	...
長野県	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	...
愛知県	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	1
滋賀県	-	-	-	-	...
京都府	-	-	-	-	1
大阪府	1	0.07	-	-	...
兵庫県	-	-	-	-	...
奈良県	-	-	-	-	...
和歌山県	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	...
広島県	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	...
香川県	-	-	-	-	...
愛媛県	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	...
福岡県	-	-	-	-	4
佐賀県	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	...
熊本県	-	-	-	-	...
大分県	-	-	-	-	...
宮崎県	-	-	-	-	3
鹿児島県	-	-	-	-	3
沖縄県	-	-	-	-	6

定点把握疾患表注釈

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(施行日:平成15年11月5日、IDWR週報2003年43号参照)により、定点把握疾患の対象疾患、分類、疾患名の記載方法が一部変更されました。

改正により「RSウイルス感染症」が追加されましたが、ゼロ報告も含めて報告自体がなされていない都道府県(…)が多く見られ、その報告はまだ十分ではありません。そのため、「感染症週報」の情報還元としては、報告数のみの掲載とします。宜しく御理解ください。

感染症週報 第6巻 第35号 平成16年9月10日発行
発行: 国立感染症研究所

厚生労働省健康局結核感染症課
厚生労働省大臣官房統計情報部

事務局: 国立感染症研究所感染症情報センター

〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1

T E L : 03-5285-1111

F A X : 03-5285-1129

U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>

< 国立感染症研究所 感染症情報センター >

<http://www.mhlw.go.jp/>

< 厚生労働省 >

<http://www.forth.go.jp/>

< 旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所) >

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上に訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。